

明石市で採集されたアカギカメムシ

池田大

兵庫県明石市においてアカギカメムシ *Cantao ocellatus* が採集されたので報告する。

1ex., 兵庫県明石市太寺. 6. XI. 2023. 小野淑子採集・筆者保管 (図 1)

南方系の種であるアカギカメムシは、元々の分布域は南西諸島以南であったが、2000年代以降には本州～北海道の広い範囲で記録されるようになってきている(堀・野村, 2021)。兵庫県においては2020年にまとまった記録がある(八木, 2020)のみで、依然として偶産種であると考えられる。

末筆ながら、本個体を採集した小野淑子氏及び筆者へ連絡を取り次いでいただいた粟井久仁子氏にお礼申し上げる。

○引用文献

堀繁久・野村昭英, 2021. 2020年秋に北海道へ飛来及び漂着したアカギカメムシ. 北海道博物館研究紀要, 6: 1 - 10.

八木剛, 2020. 2020年に10件得られたアカギカメムシの発見情報. きべりはむし, 43(2): 48 - 49.

(Hiroshi IKEDA 檀原市昆虫館)

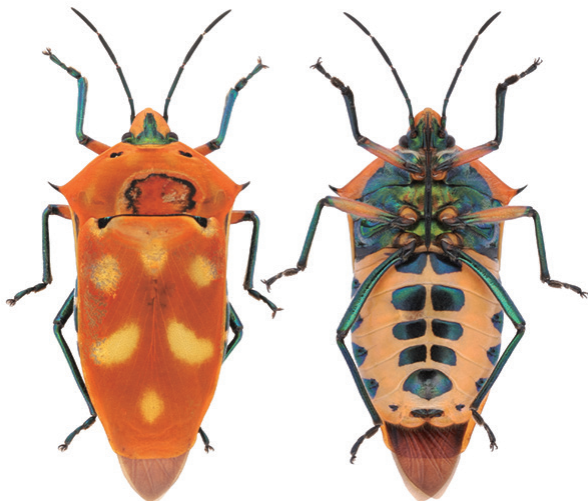


図 1. 明石市産アカギカメムシ (左: 背面, 右: 腹面)

兵庫県相生市におけるツマベニヒメナガカメムシの採集報告

菅藤康平

ツマベニヒメナガカメムシ (*Neortholomus scolopax*) は、2018年に関東地方で確認された外来種のカメムシの一種である。その後、翌2019年には関東地方の広範囲に広がっていたとされる(吉田, 2020)。

以前、きべりはむしにて「今後兵庫県を含む近畿地方でも各地で確認される可能性があり、注目の必要と考えられる」という記述を拝見した(吉田, 2020)ため、分布情報の参考として報告する。



写真 1. ツマベニヒメナガカメムシ *Neortholomus scolopax*

【標本記録】 兵庫県相生市 JR 相生駅, 17. XI. 2023, 21:05
筆者採集 (写真 1)

筆者は、兵庫県赤穂市を拠点としてカメムシ調査を行っており、相生駅でもよく探している。そんな中、待合室の窓の隅にたたずむ本種を発見した。

○引用文献

吉田浩史, 2020. 神戸市内からのツマベニヒメナガカメムシの記録. きべりはむし, 43 (2): 50.

(Kohei KANTO 兵庫県立大学附属高等学校)